

中原区最後の秘境をプロデュース！
井田長瀬緑地で「やりたい」を語り尽くす夜

中原区ソーシャルデザインセンター
第45回YORIAI

2026/6/17

1.井田長瀬緑地の紹介(10分)

現地体験ツアー

2.実践事例の紹介(10分)

①縄文の森サバイバルプロジェクト

②忍者村プロジェクト

③高校生が子ども達と創る「植生図鑑」

3.みんなの「やりたい」を語り尽くそう！(20分)



contents 1



What is Ida Nagase
Green Space?

中原区最後の秘境へようこそ！



住所：川崎市中原区井田3-9-3

 元住吉駅徒歩20分

 井田営業所前徒歩5分

井田長瀬緑地とは

矢上川のほとり、井田伊勢山の北側に広がる約0.69ヘクタールの緑地。

ありのままの自然が残されていることから、「中原区最後の秘境」と呼ばれている



白蛇伝説と毘沙門天の大銀杏

- ・古祠には、七福神の一人、勝負事の神様である毘沙門天が祀られている
- ・大銀杏には「祠の主」と呼ばれる一匹の白い大蛇が住んでおり多摩川が氾濫した際に洪水の中を泳ぎ回り村を守ったと言い伝えられている
「川崎物語集 卷三」より





プロジェクト発足の裏舞台 「始まりの物語」

本日のYORIAIテーマ

中原区最後の秘境をプロデュース！

井田長瀬緑地で「やりたい」を語り尽くす夜

開催に至った経緯



さかのぼること3年前、中原区SDCから生まれた

川崎市中原区100人カイギ

2023年10月～2025年5月 全20回 登壇者100名



100人カイギとは
地域で活躍する100人の話を起点に
クロスジャンルでゆるやかなつな
がりを生むプロジェクト

2025年5月解散式では『中原区をもっと面白い街にするには？』をテーマにワールドカフェを実施



飲酒マラソン

全区民でジャンプして地ならしを起こす
未成年の主張（おじさんお婆さんの主張）
屋上から愛を叫ぶ
人間ドミノ
人間ウェーブ
100人イス取りゲーム
ハンカチ落とし 西中に集まれ！
綱引き、けん玉 みんなで歌う

- 風間トオルと時保トモ
- 防災と遊び
- 葉っぱを食べてみよう
- コスギ100人カイギ
- 自由に落書きできる壁
- 駄菓子屋x○○
- リッチモンドからインバウンドを
- 畑で野菜をつくる
- 我が街紹介TRKTEK みこしTEK TEK
- 正月遊び 四季を楽しむ会
- みこしを見せ合う会
- 農家さんと友達になろう



川崎市中中原区100人カイギの流れを受けて、
解散式で生まれたアイデアを実現するために
2025年9月 第35回YORIAI 初の井田開催！



川崎市地球温暖化防止活動推進センター長
中原区SDC 竹井齊さんのコミュニティスペース「大きな木2」

YORIAIの帰り道 井田山でやってみたいことを話している・・・



やはり、みんな忍者になりたいのか！ということで

2025年10月

井田長瀬緑地・忍者村プロジェクト 第1回構想会議開催

井田長瀬緑地・忍者村プロジェクト

第1回構想会議のお知らせ

中原区最後の秘境、井田山でお月見をしながら
ビール片手に忍者村について語ろう！

日時：10月4日(土) 17時集合
集合場所：セブンイレブン井田2丁目
(井田2丁目35-10)
途中参加、退出OK！
持ち物：お酒、おつまみ、虫除けスプレー
ライト、手裏剣



井田長瀬緑地・忍者村プロジェクトとは

元川崎市地球温暖化防止活動推進センター長
竹井齋氏監修のもと、里山を未来へつなぐため、
忍者村の建設を通じて子どもと大人が
「本気で遊ぶ」場所を創出します



【行程】途中参加の方はこちらを参考にしてね！

井田長瀬緑地 → 18時頃：井田山でお月見（月齢12.3、月の出16時4分）
19時30分頃：井田杉山町公園（井田杉山町23番地）
→ 秋季祭礼（自由解散）

【主催】中原区ソーシャルデザインセンター
井田長瀬緑地忍者村プロジェクト推進委員会



2022年から毎年恒例となっている
中原区SDC井田山のお月見に合わせて実施



2025年12月

主催:川崎市 運営主体：NPO法人自然大学校

「井田長瀬の森で遊ぼう！」

井田長瀬の森で遊ぼう!

~参加無料~ **2025年12月20日(土)** 小雨決行 荒天中止

大きなイチョウの赤と黄(はこら)がたまたま井田長瀬緑地という小さな森を知っていますか?

この森の魅力をみなさんに体感してもらうために、自然の素材を使ったおもちゃや遊具遊びができる「1日限定のアレパーク」を開催します!

おうちの人、兄弟姉妹、おともだちと一緒に、ぜひ遊びに来てください。

実施プログラム

モンキーブリッジ
木と木の間にロープで遊んでみよう!

手づくりおもちゃ

ヒノキの迷路

※天候、参加人数以上の場合は中止する場合がございます。参加はイメージです。

お問い合わせ
森のあそび場 事務局
☎ k_yokuchi@natsuniv.jp

【主催】川崎市 【運営主体】NPO法人自然大学校



2026年3月YORIAI “市民が土にふれる場作り” 井田コミュニティファームVOVO✕中原区SDC

URBAN BIO-INTERFACE PROJECT

～都市型生命システム実装実験～



土壌の「デジタルトランスフォーメーション」

コミュニティの畑にセンサーを設置し、微生物バランスをデジタルツイン上に再現。「なんとなく育てる」から土の状態を「スマホのダッシュボード」で管理



高機能野菜の生産に挑戦

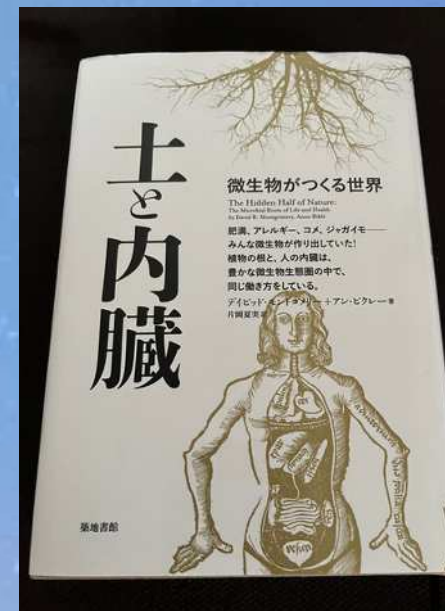
ターゲットとする栄養素(抗酸化力など)をあらかじめ設定し、土壌データを制御して「狙い通りの野菜」を作る。野菜を「作物」ではなく「サプリメント(ハードウェア)」として設計。「栽培」のみならず「製造・検証」に携わる。



子どもたちの「共創・学び」のプログラム

ミクロの世界の探検:顕微鏡を使用して土中の微生物を直接観察し、スケッチや撮影を行う。・「土と内臓」のワークショップ:「土が元気で野菜が甘くなるのはなぜ?」という疑問から、自分の体の腸内細菌との関わりを学ぶ

in 井田長瀬緑地×井田忍者村プロジェクト



**2026年3月 中原区役所道路公園センター
井田長瀬緑地使用のお願いにお伺いしたところ**



市民提案型協働事業の申請をご紹介され

令和8年度 中原区市民提案型協働事業に採択されました！

事業名：井田長瀬緑地忍者村プロジェクト

「中原区市民提案型協働事業」とは
地域の課題解決に向けて市民活動団体などから事業の
アイデアを募集し、提案団体と行政と一緒にその取り
組みを実施する制度

背景と現在直面している地域課題



生態系保全

井田長瀬緑地は放置はされているが、比較的、安定した生態系を維持している。今後、竹林拡大、外来種増加を防ぎながら、あまり、手間がかからない管理を目指す。



環境劣化の予防

定期的なパトロール、ごみ拾い、標示掲示などにより、粗大ごみ不法投棄を防ぎ、適切な管理体制の構築を目指す。



子どもの遊び場の消失

五感で遊べる自然環境が減少し、多世代交流の場も不足しています。



プロジェクトのビジョンと目的

豊かな緑地を、地域の絆で再生させる

未来へつなぐ拠点作り

持続可能な自然保全

竹林整備や外来種管理を通じ、生物多様性を守り高める持続可能な活動。

忍者村の創出

子どもたちが主体的に遊び場を創る場を提供し、身体能力と環境意識を育成

多世代交流

シニアの知恵と子どもの活力を交差させ、地域循環を生み出します



協働の枠組みと役割分担

ナカモットの役割

- プロジェクトの運営推進
- 定期的な環境保全活動
- イベントの企画・実施
- 地域コミュニティの醸成

盒中原区役所の役割

- 道路公園センターによる管理指導
- グリーンエココミュニティ推進室連携
- 広報支援・公式媒体での周知
- 活動拠点の利用許可・安全助言

2026-2027年度 年間ロードマップ

基盤確立から試行プログラムの実施、そして本格開放へ



2027年3月までに「本格的な地域開放」を実現する体制を構築します。

contents 2



- ① 縄文の森サバイバル
- ② 忍者養成講座
- ③ 高校生と子ども達が創る「植生図鑑」

Introduction of the project

① 縄文の森サバイバル

川崎市地球温暖化防止活動推進センター
竹井斉さん

井田長瀬緑地

縄文の森サバイバル

縄文人の暮らしに挑戦！

～災害があっても生き残ろう～



エコクラブかわさき

中原区ソーシャルデザインセンター

CCなかはら・地球にいいことプロジェクト

ワークテキスト 1
+2℃の世界
縄文時代に見る地球温暖化

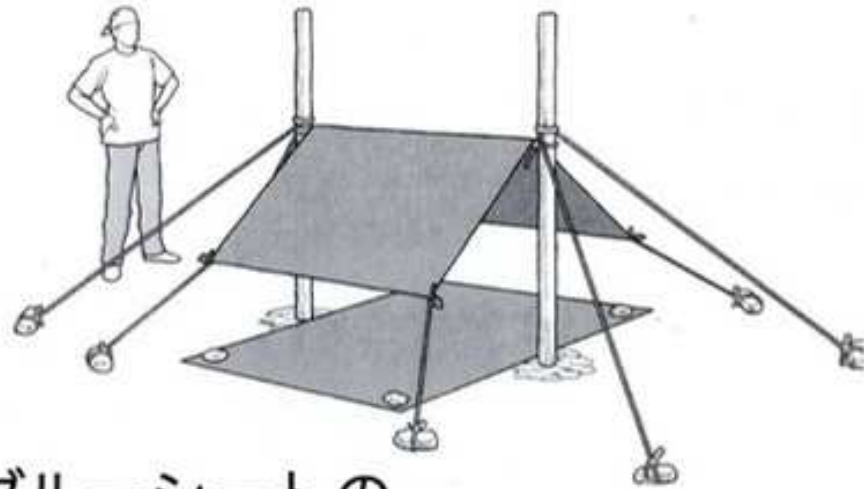
縄文の海は、広がった！



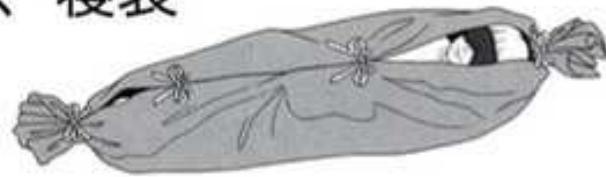
6000年前の神奈川の大地

(神奈川県立 生命の星・地球博物館)

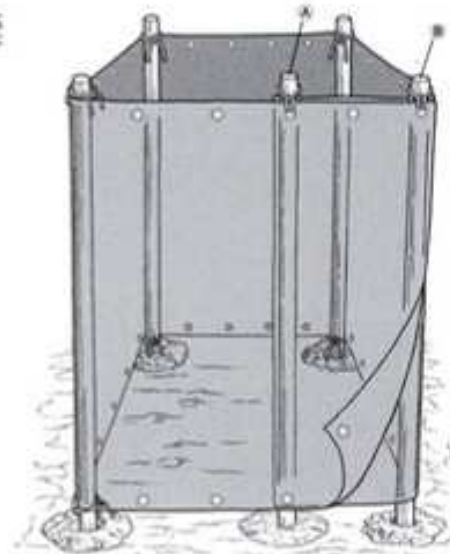


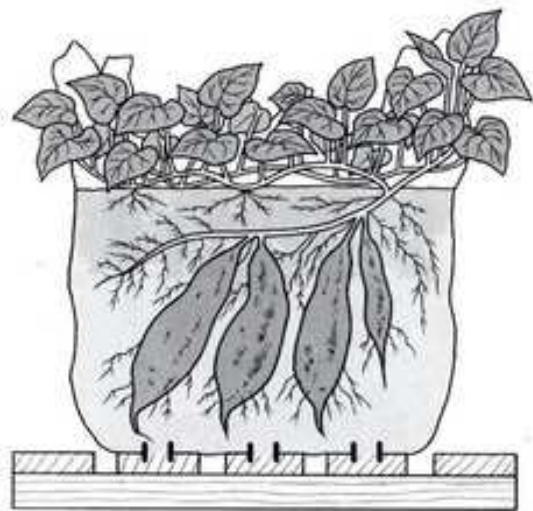


ブルーシートの
テント、寝袋



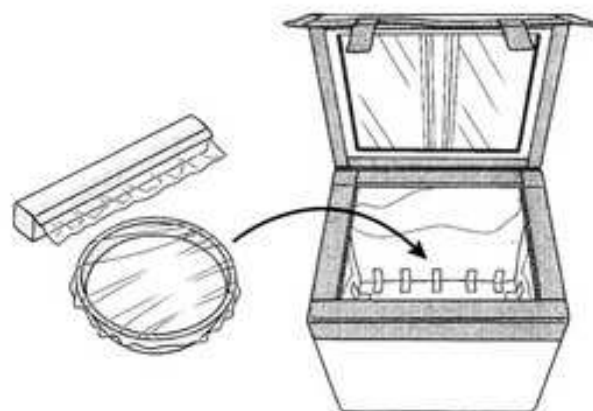
ダンボール
トイレ





レジ袋で
サイマイモ栽培

ダンボール ソーラークッカー



「災害サバイバルガイド」
～72時間を生き抜く～
(食べる・寝る・トイレ)

② 忍者養成講座

修行チーム



忍術チーム






戦術チーム




僕らの忍者村を作ろう！

忍者遊び・親子参加型プログラム

単に遊ぶだけでなく、緑地の環境学習と併せて「遊び場を自ら創造する」体験を提供します。

-  専門指導：NPO法人国際自然大学校等と連携
-  自然素材活用：整備で出た竹をアスレチックに
-  主体性育成：ルール作りから子どもが参加





③ 高校生が子ども達と創る
「植生図鑑」

contents 3



チーム編成

- 縄文の森サバイバル
- 忍者養成講座
- 植生図鑑
- 全体運営

Tell me what you'd like to try.

①自己紹介

②やってみたいことを自由に話してください！